

第5節 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

第1項 地域産業を振興し、豊かな経済活動ができるようにします

めざしたい将来像：

今ある資源を活かした、新しい松戸らしい地域産業を生み出すため、産・学・官・民の連携、世代間を超えた連携を継続して行うことによって、若者にも魅力ある松戸のまちを実現します。

《指標》

快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合

(1) 指標の説明

都市機能の強化は、快適性や利便性の向上となり、産業の振興と雇用の確保、観光資源の活用や商圈の拡大等による交流人口の増加は賑わいをもたらすものです。そこで、快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合を指標とします。

(2) 設問

この指標は、「快適・便利・賑わいの4項目の満足度」を組み合わせて聞いています。「地域・態度（評価）」

Q18（イウキセ） あなたが松戸市で生活する中で、次のことについてどの程度満足しているかについて、次のア～チの各項目に、あなたの考えに最も近い番号それぞれ1つに○をつけてください。

項目		十分満足している	まあまあ満足している	普通である	やや不満である	きわめて不満である	わからない
イ	まちの賑わいや買い物の便	1	2	3	4	5	6
ウ	通勤・通学などの交通の便	1	2	3	4	5	6
キ	道路、公園、下水道などの都市施設	1	2	3	4	5	6
セ	特色ある祭りや地域ぐるみのイベント	1	2	3	4	5	6

<総合満足度の算出について>

快適・便利・賑わいの4項目の総合満足度については、次のような方法にもとづき算出しています。

- ・ Q18 イ、ウ、キ、セの4つの質問のそれぞれについて、選択肢に応じた評価点を付与する。
- ・ 該当する質問の評価点を合計し、合計点に基づいて総合満足度を判定する。

評価点

- | | |
|-----------|-----|
| ①「十分満足」 | +2点 |
| ②「まあまあ満足」 | +1点 |
| ③「普通」 | ±0点 |
| ④「やや不満」 | -1点 |
| ⑤「きわめて不満」 | -2点 |

判定

- | | |
|---------|--------------|
| ①+5点以上 | (十分満足している) |
| ②+1～+4点 | (まあまあ満足している) |
| ③±0点 | (普通である) |
| ④-1～-4点 | (やや不満である) |
| ⑤-5点以下 | (きわめて不満である) |

該当する質問の評価点を合計する

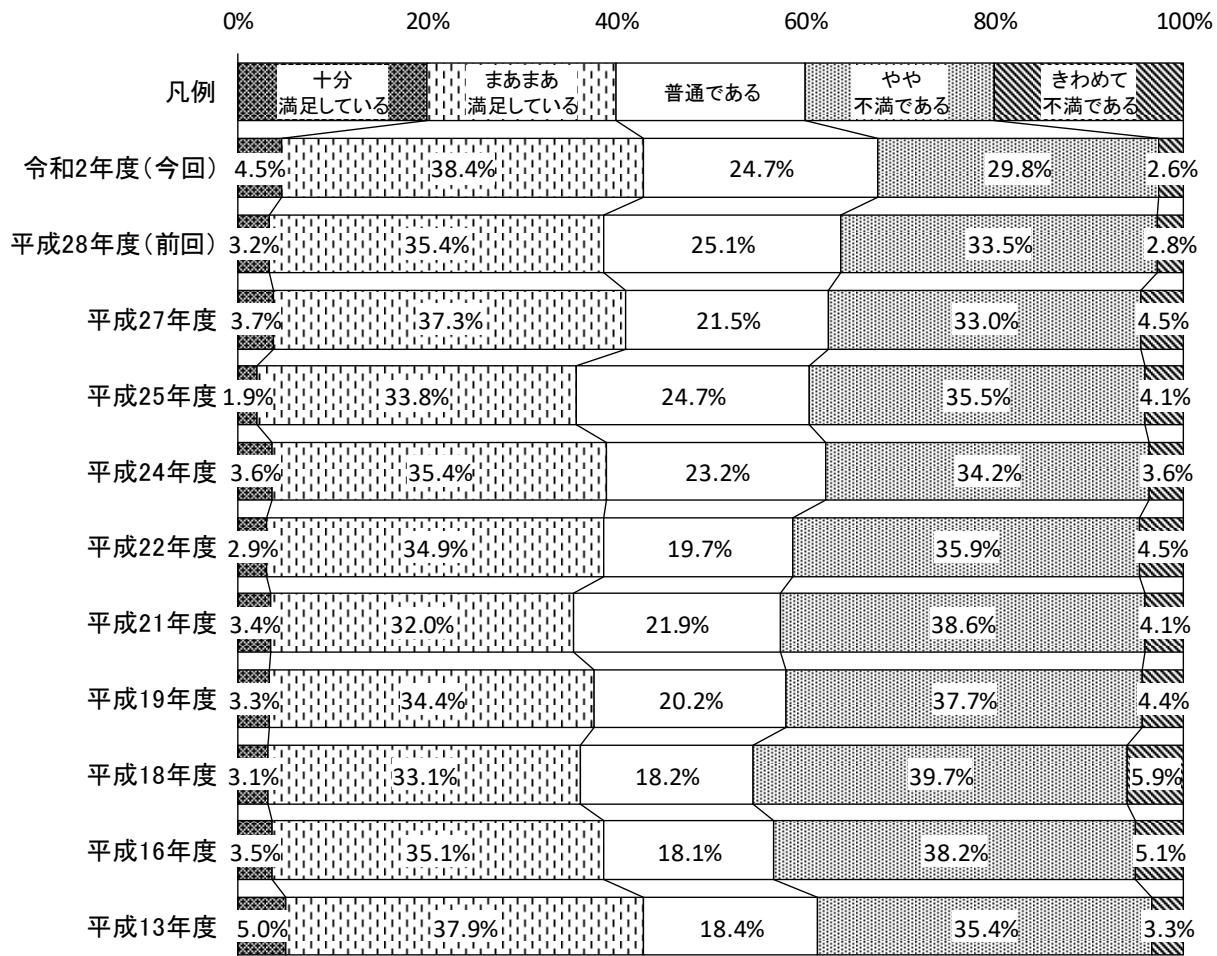
(3) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度	令和 2年度
十分満足している	5.0%	3.5%	3.1%	3.3%	3.4%	2.9%	3.6%	1.9%	3.7%	3.2%	4.5%
まあまあ満足している	37.9%	35.1%	33.1%	34.4%	32.0%	34.9%	35.4%	33.8%	37.3%	35.4%	38.4%
計	42.9%	38.6%	36.2%	37.7%	35.4%	37.8%	39.0%	35.7%	41.0%	38.6%	42.9%

(4) 指標の分析

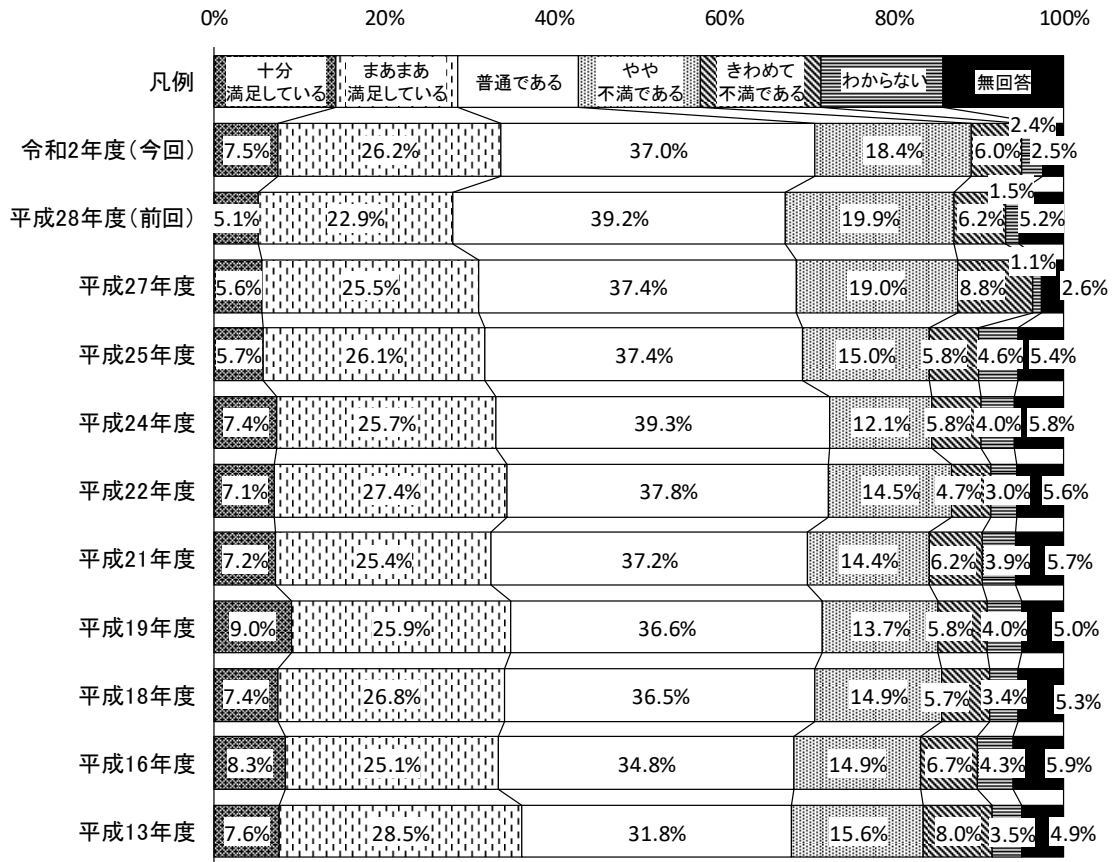
☆快適・便利・賑わいの満足度は4割を超えています

快適・便利・賑わいの4項目の総合満足度について、「十分満足している」、「まあまあ満足している」を合わせた『満足している』(42.9%)と答えた方は4割を超えており、平成28年度調査と比べて4.3ポイント増加しています。一方、「やや不満である」、「きわめて不満である」を合わせた『不満である』(32.4%)と答えた方は3割を超えており、平成28年度調査と比べて3.9ポイント減少しています。

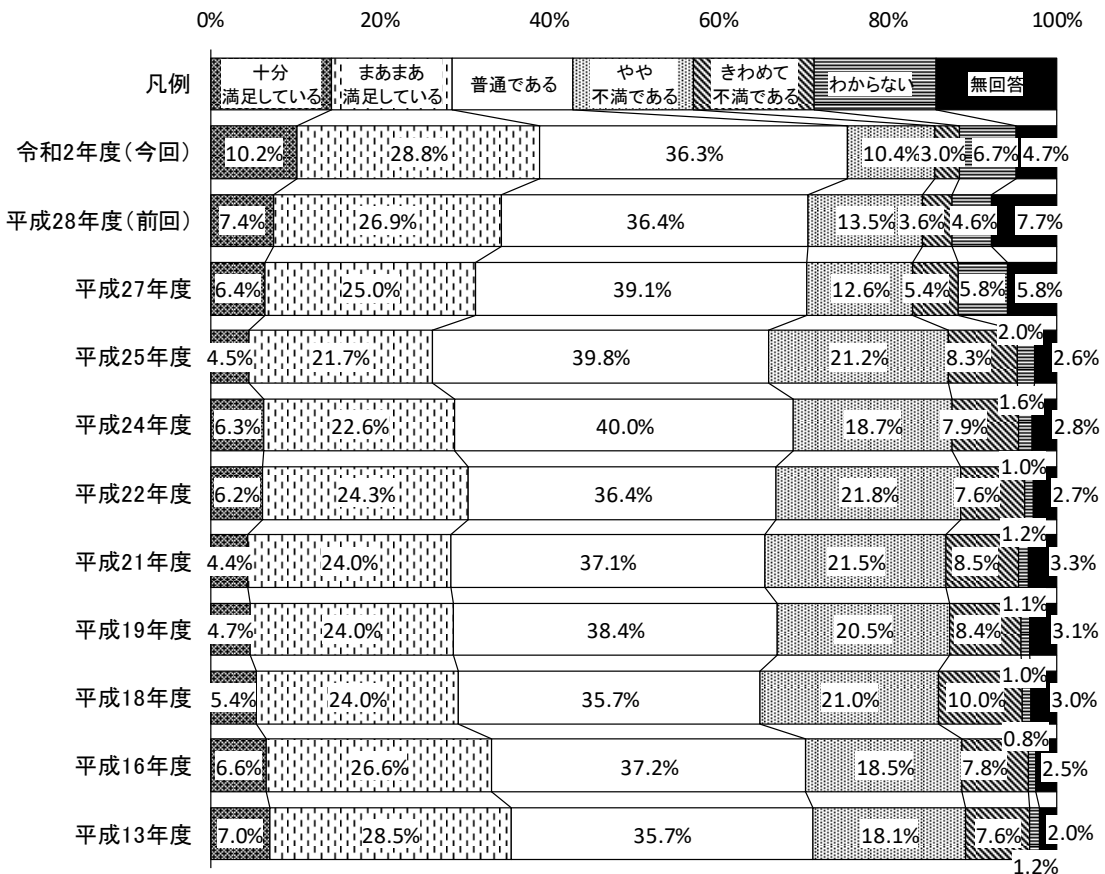


4項目それぞれについてみると、『満足している』は平成28年度調査と比べて、【まちの賑わいや買い物の便】で5.7ポイント、【通勤・通学などの交通の便】で4.7ポイント、それぞれ増加しています。一方、【特色ある祭りや地域ぐるみのイベント】で4.8ポイント減少しています。

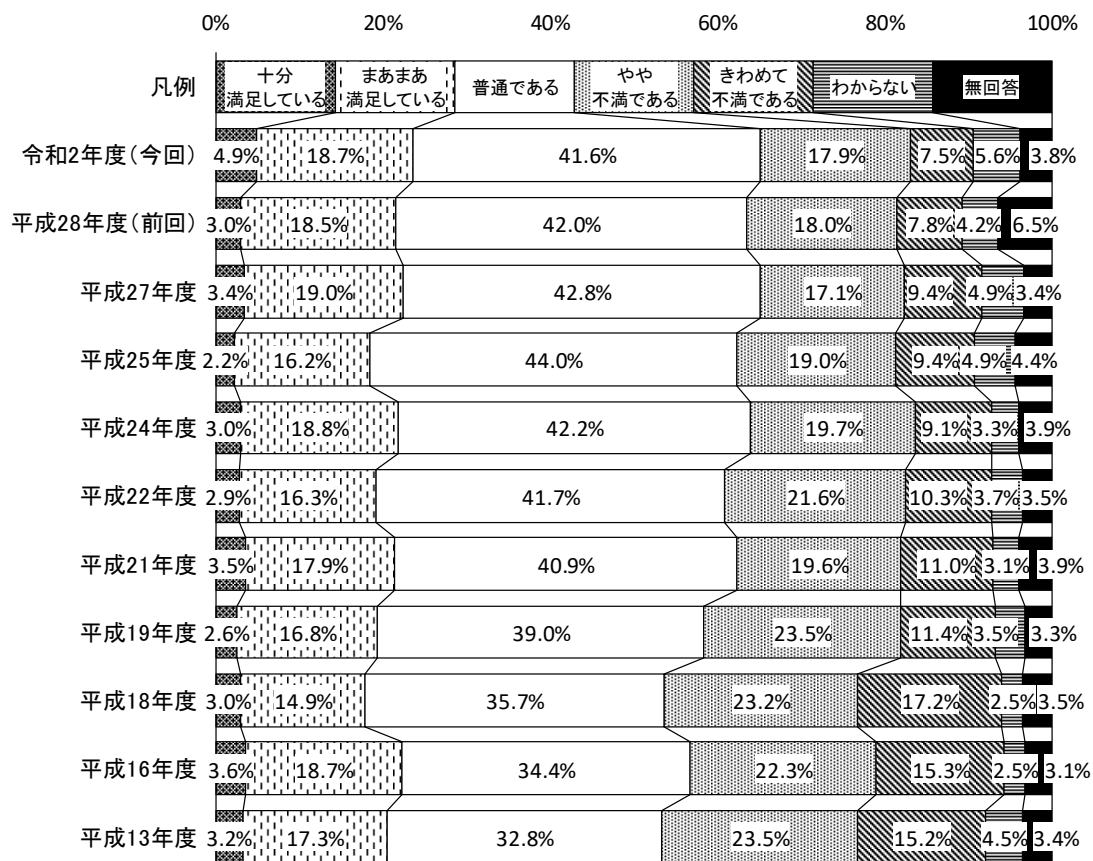
【(イ) まちの賑わいや買い物の便】



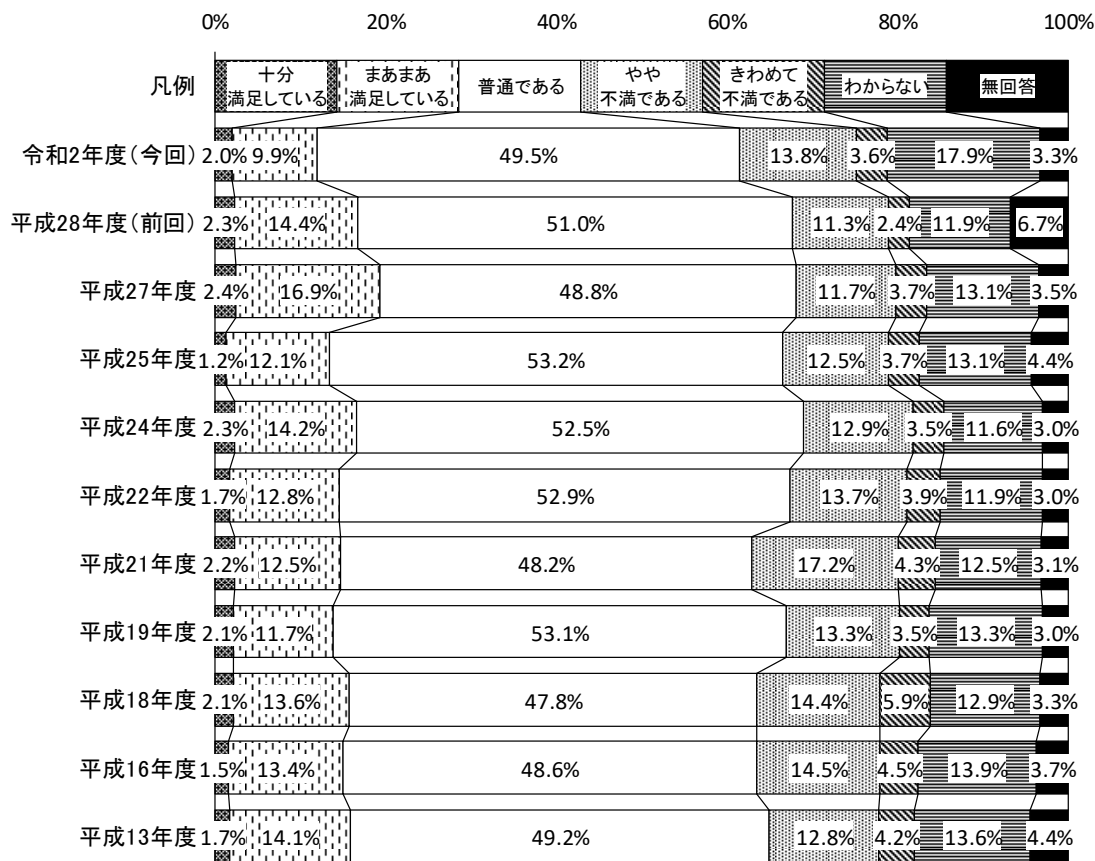
【(ウ) 通勤・通学などの交通の便】



【(キ) 道路、公園、下水道などの都市施設】



【(セ) 特色ある祭りや地域ぐるみのイベント】



《指標》

松戸の良さを伝えるために取り組んでいる市民の割合

(1) 指標の説明

魅力あるまちづくりに向けて、松戸の良さに気づき、その良さを他の人に伝えている市民が増えることが必要と考えられます。そこで、松戸の良さを伝えるために取り組んでいる市民の割合を指標とします。

(2) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「個人・行動」

Q9 あなたは日頃、松戸の良さを他の人に伝える活動をしていますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------|------------|
| 1 日常的にしている | 3 あまりしていない |
| 2 ときどきしている | 4 全くしていない |

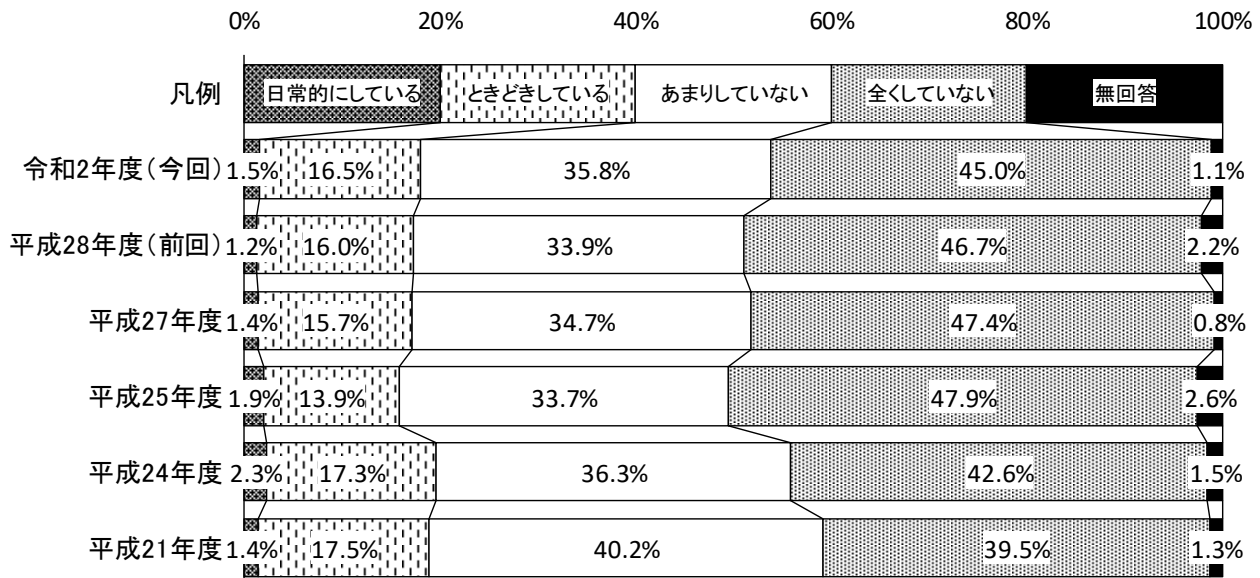
(3) 指標の現状

	平成 21年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度	令和 2年度
日常的にしている	1.4%	2.3%	1.9%	1.4%	1.2%	1.5%
ときどきしている	17.5%	17.3%	13.9%	15.7%	16.0%	16.5%
計	19.0%	19.6%	15.8%	17.1%	17.2%	18.0%

(4) 指標の分析

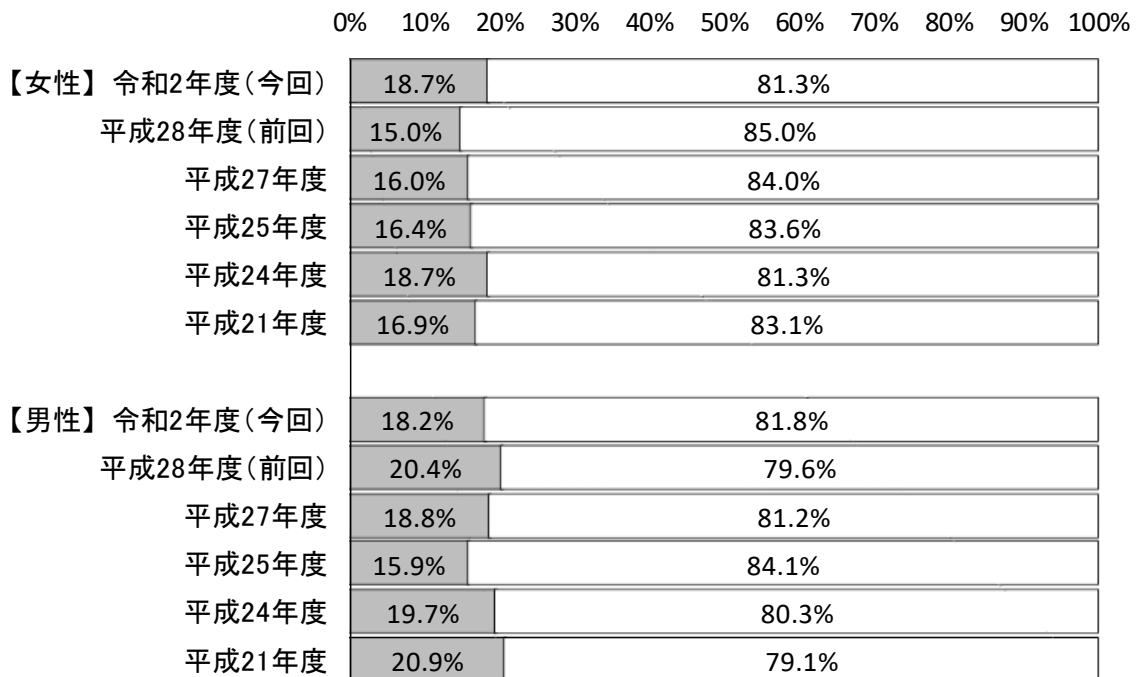
☆松戸の良さを他の人に伝えている人は約2割となっています

日頃、松戸の良さを他の人に伝える活動を、「日常的にしている」、「ときどきしている」を合わせた『伝えている』(18.0%)と答えた方は約2割となっており、過去の調査と大きな傾向の違いはみられません。



<松戸の良さの伝達×性別>

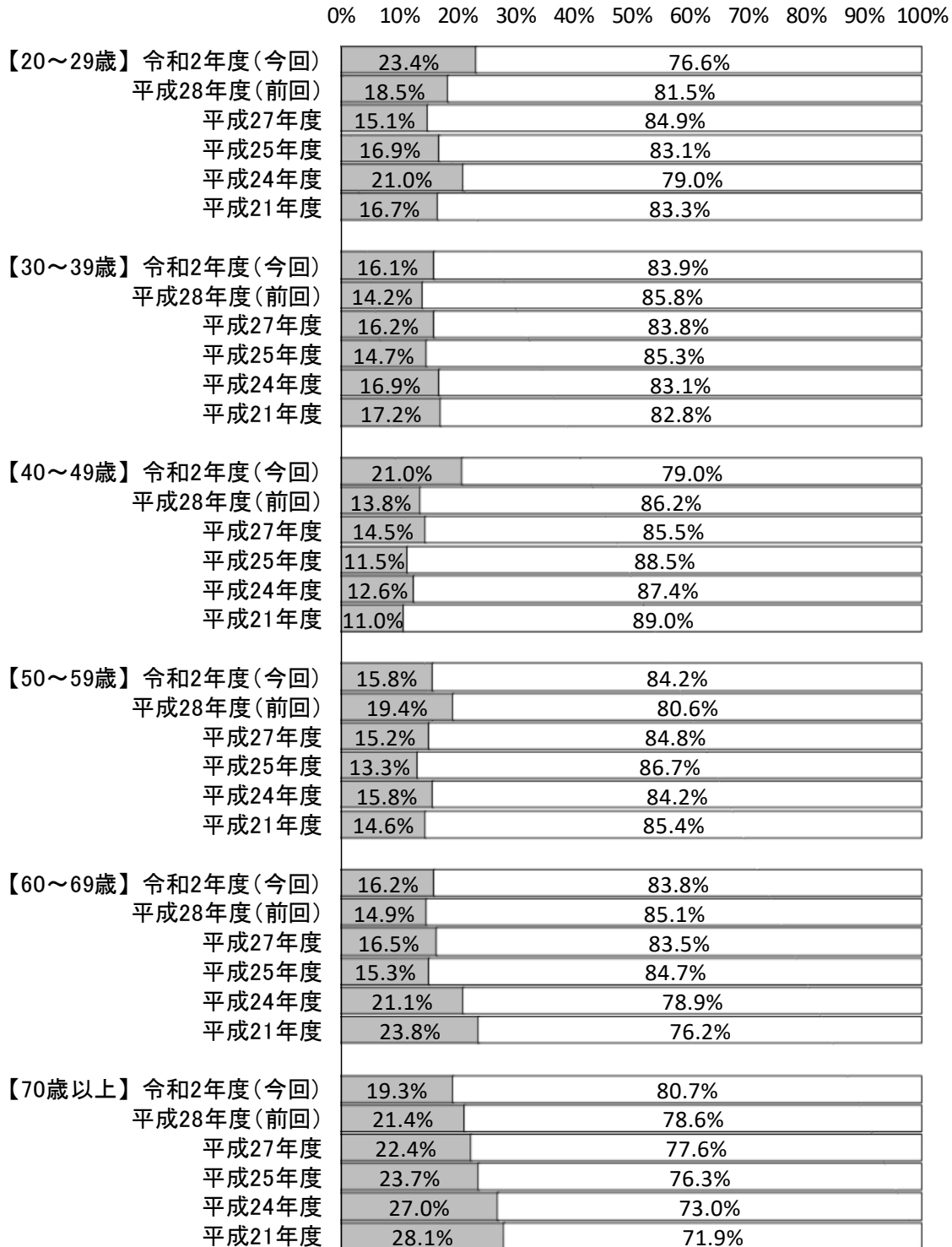
性別でみると、『伝えている』は“女性”(18.7%)が“男性”(18.2%)より高くなっています。



■「日常的にしている」と「ときどきしている」の合計比率
□「あまりしていない」と「全くしていない」の合計比率

<松戸の良さの伝達×年齢別>

年齢別でみると、『伝えている』は“20～29歳”（23.4%）で最も高く、次いで“40～49歳”（21.0%）となっています。また、『伝えている』は平成28年度調査と比べて、“40～49歳”で7.2ポイント、“20～29歳”で4.9ポイント、それぞれ増加しています。

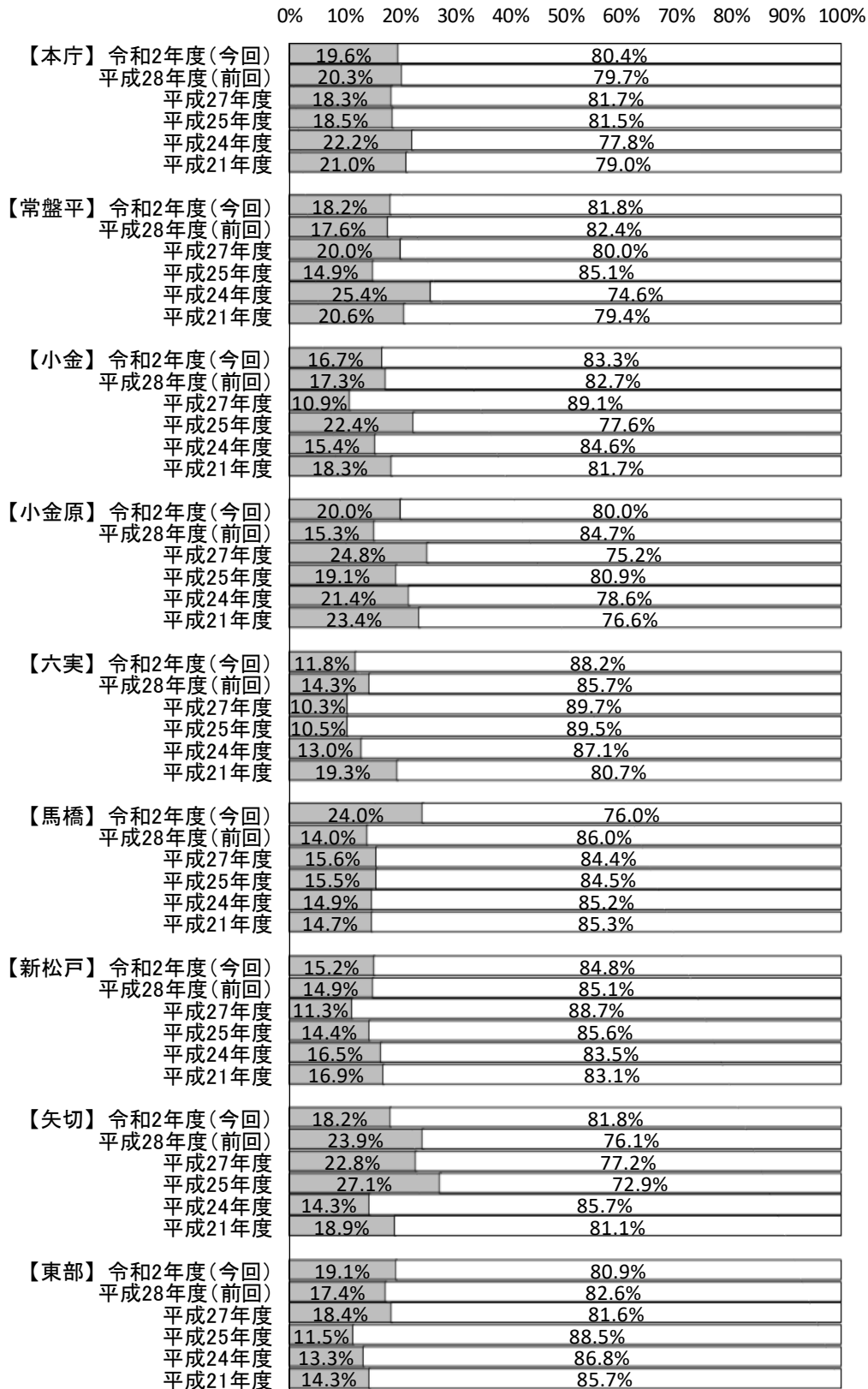


■「日常的にしている」と「ときどきしている」の合計比率

□「あまりしていない」と「全くしていない」の合計比率

<松戸の良さの伝達×居住地区別>

居住地区別でみると、『伝えている』は“馬橋”（24.0%）で最も高く、次いで“小金原”（20.0%）となっています。また、『伝えている』は平成28年度調査と比べて、“馬橋”で10.0ポイント、“小金原”で4.7ポイント、それぞれ増加しています。



■「日常的にしている」と「ときどきしている」の合計比率

□「あまりしていない」と「全くしていない」の合計比率

第5節 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

第3項 ゆとりを感じるまちに住むことができるようにします

めざしたい将来像：

文化的で自然豊かなゆとりのあるまちと感じられるように、産・学・官・民が連携してまちづくりをすすめることで、地域のコミュニティが生まれ、市民のふるさととしてふさわしいまちを実現します。

《指標》

安心やゆとりを感じている人の割合

(1) 指標の説明

住環境の拡大や自然環境の保全是、多くの人々にゆとり感を与えます。そこで、安心やゆとりを感じている人の割合を指標とします。

(2) 設問

この指標は、「安心やゆとりの6項目の満足度」を組みあわせ聞いています。「地域・態度（評価）」

Q18（アケコサシチ） あなたが松戸市で生活する中で、次のことについてどの程度満足しているかについて、次のア～チの各項目に、あなたの考えに最も近い番号それぞれ1つに○をつけてください。

項目	十分満足している	まあまあ満足している	普通である	やや不満である	きわめて不満である	わからない
ア 保健・医療・福祉サービス	1	2	3	4	5	6
ケ 緑地・河川などの自然環境	1	2	3	4	5	6
コ 空気のきれいさ、騒音・悪臭などの公害の少なさ	1	2	3	4	5	6
サ まち並み、建物などまち全体の景観	1	2	3	4	5	6
シ 事故や災害に強い安全なまち	1	2	3	4	5	6
チ 住環境のゆとりなどの住宅事情	1	2	3	4	5	6

<総合満足度の算出について>

- 快適 ・安心やゆとりの6項目の総合満足度については、次のような方法にもとづき算出しています。
- ・ Q18 ア、ケ、コ、サ、シ、チの6つの質問のそれぞれについて、選択肢に応じた評価点を付与する。
 - ・ 該当する質問の評価点を合計し、合計点に基づいて総合満足度を判定する。

評価点

- | | |
|------------|-----|
| ① 「十分満足」 | +2点 |
| ② 「まあまあ満足」 | +1点 |
| ③ 「普通」 | ±0点 |
| ④ 「やや不満」 | -1点 |
| ⑤ 「きわめて不満」 | -2点 |

判定

- | | |
|----------|--------------|
| ① +5点以上 | (十分満足している) |
| ② +1～+4点 | (まあまあ満足している) |
| ③ ±0点 | (普通である) |
| ④ -1～-4点 | (やや不満である) |
| ⑤ -5点以下 | (きわめて不満である) |

該当する質問の評価点を合計する

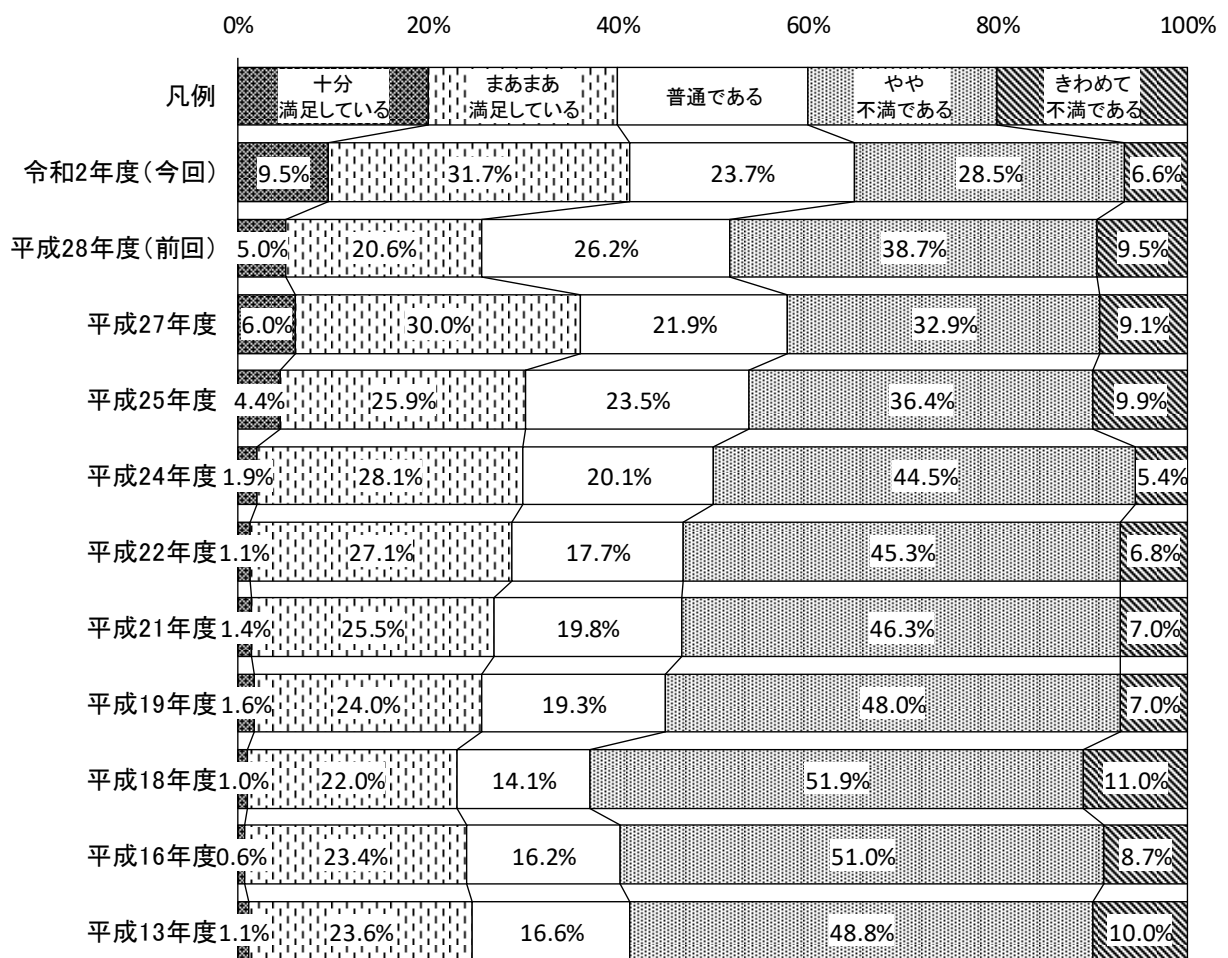
(3) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度	令和 2年度
十分満足している	1.1%	0.6%	1.0%	1.6%	1.4%	1.1%	1.9%	4.4%	6.0%	5.0%	9.5%
まあまあ満足している	23.6%	23.4%	22.0%	24.0%	25.5%	27.1%	28.1%	25.9%	30.0%	20.6%	31.7%
計	24.7%	24.0%	23.0%	25.6%	26.9%	28.2%	30.0%	30.2%	36.0%	25.6%	41.2%

(4) 指標の分析

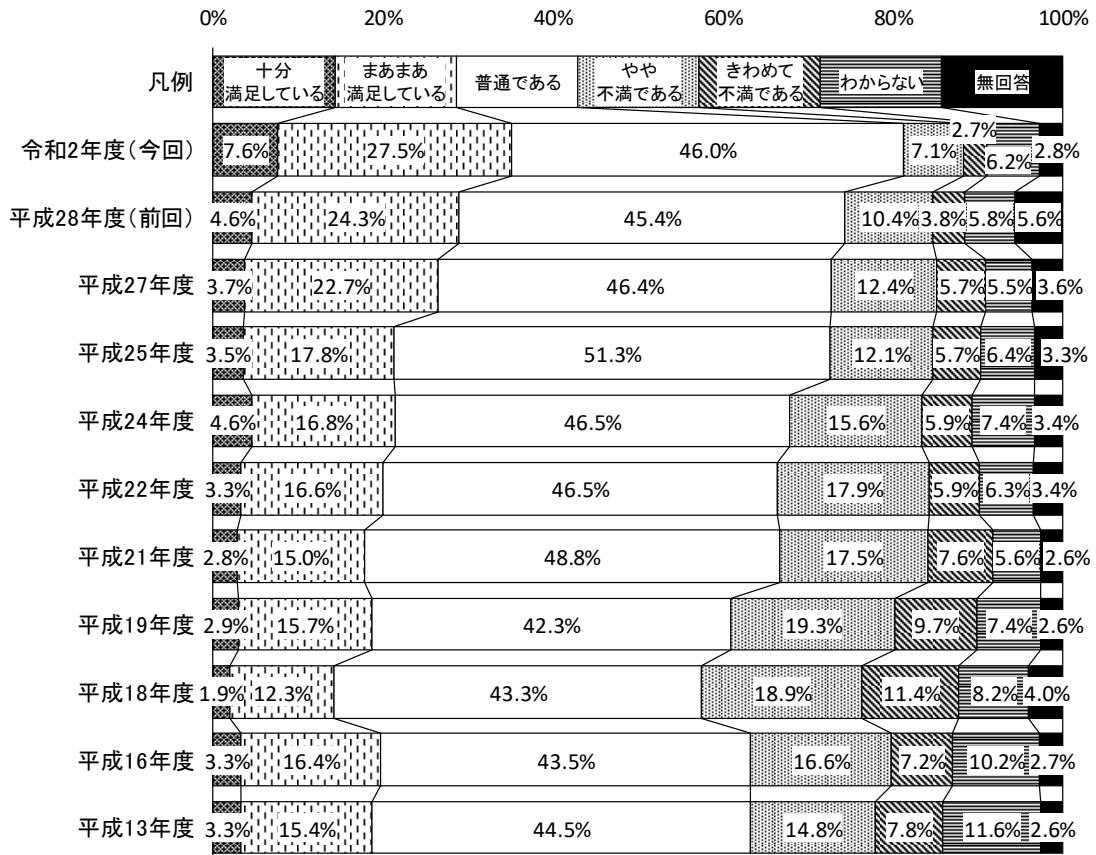
☆安心やゆとりの満足度は約4割

安心やゆとりの6項目の総合満足度について、「十分満足している」、「まあまあ満足している」を合わせた『満足している』(41.2%)と答えた方は約4割となっており、平成28年度調査と比べて15.6ポイント増加しています。

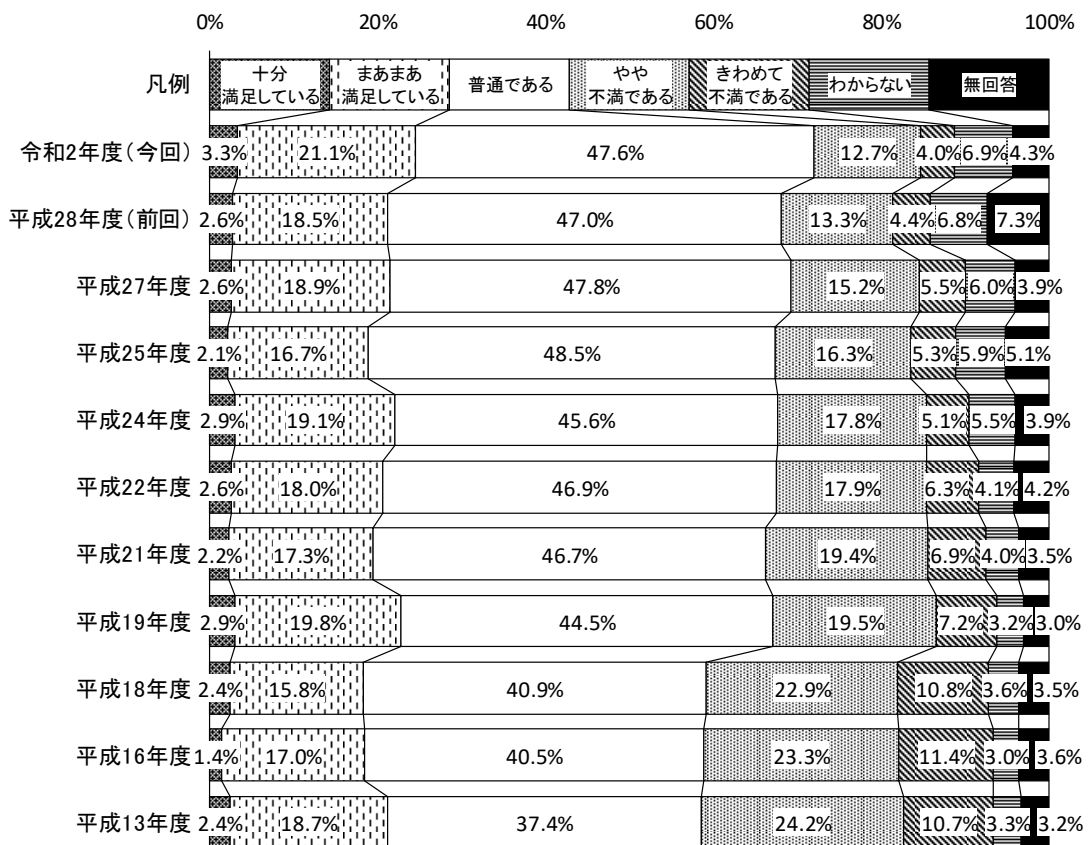


6項目それぞれについてみると、『満足している』は平成28年度調査と比べて、【保健・医療・福祉サービス】で6.2ポイント、【事故や災害に強い安全なまち】で4.6ポイント、それぞれ増加しています。

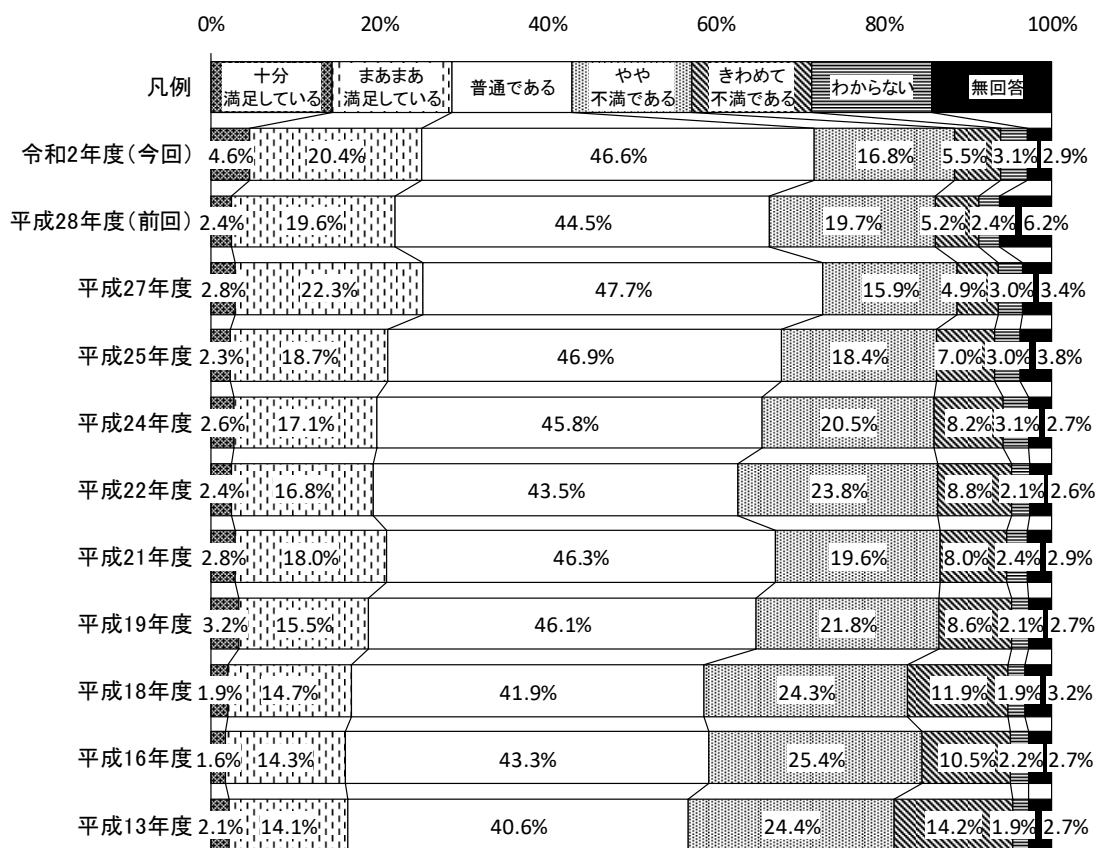
【(ア) 保健・医療・福祉サービス】



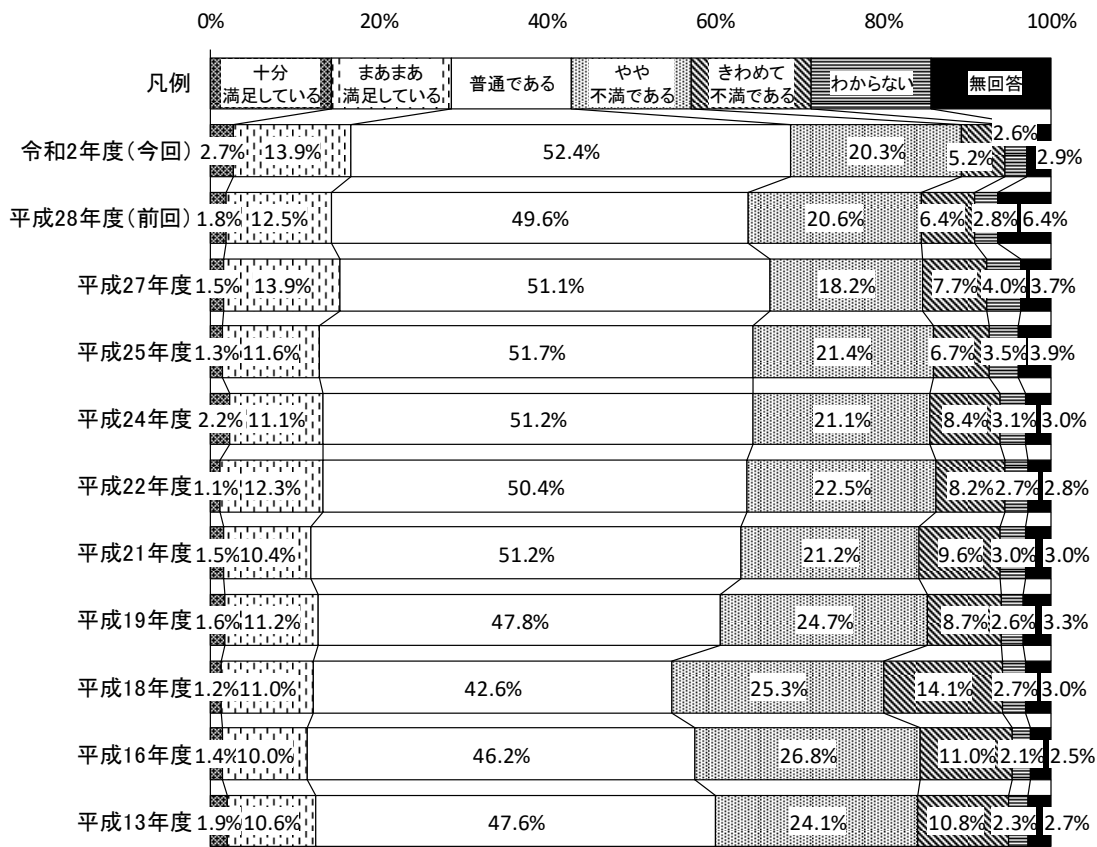
【(ケ) 緑地・河川などの自然環境】



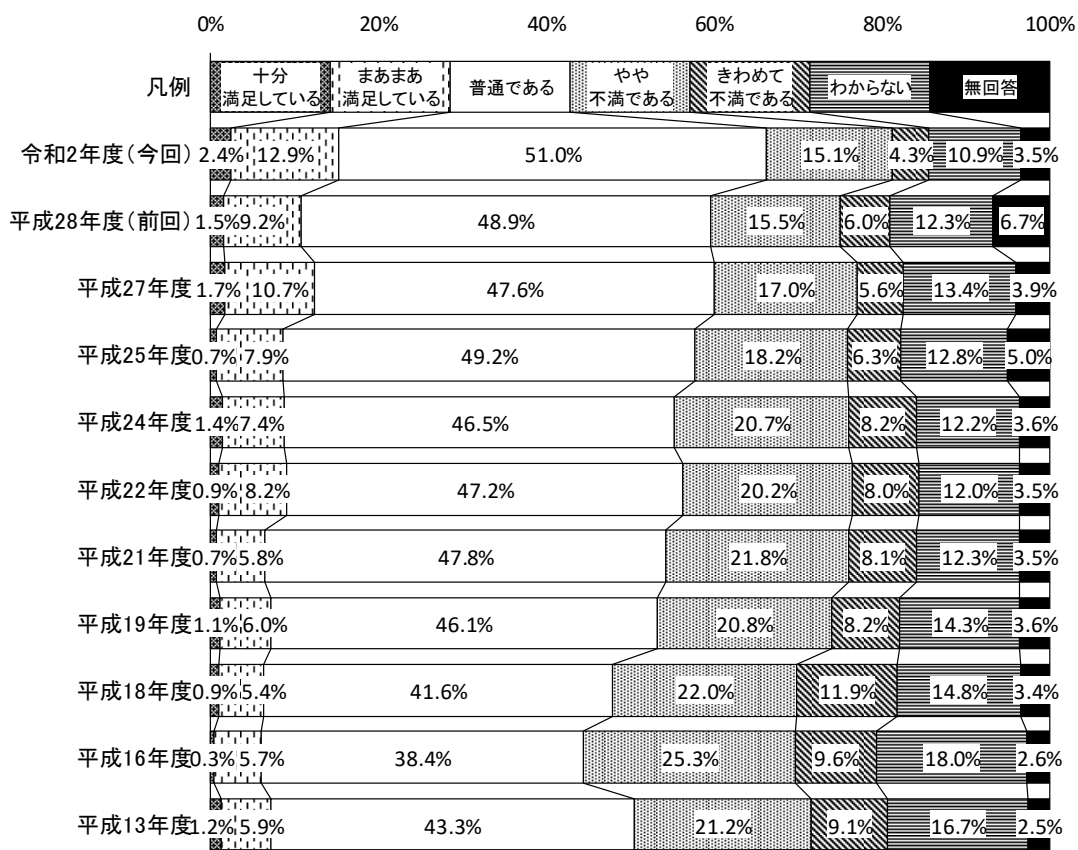
【(コ) 空気のきれいさ、騒音・悪臭などの公害の少なさ】



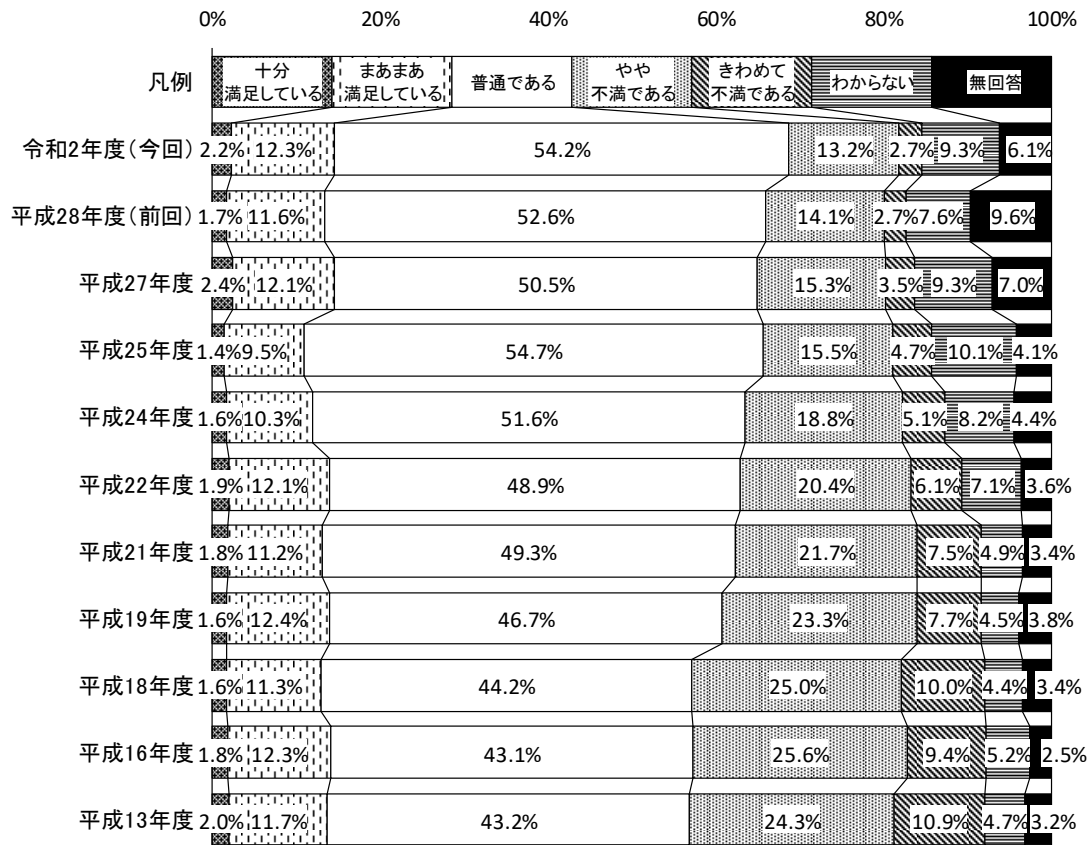
【(サ) まち並み、建物などまち全体の景観】



【(シ) 事故や災害に強い安全なまち】



【(チ) 住環境のゆとりなどの住宅事情】



第5節 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

第5項 安全な河川に整備し、きれいな水とふれあえるようにします

めざしたい将来像：

清流と豊かな自然環境の保持に向けて、浸水被害を少なくし、川に親しめるような整備をすることで、川辺が市民の憩いの場となることを実現します。

《指標》

緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合（再掲）

(1) 指標の説明

緑や水にふれあう機会が増すことによって、これらの自然環境に対する市民の満足度も高くなると考え、緑地、河川などの自然環境に満足している人の割合を指標とします。

(2) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「地域・態度（評価）」

Q18（ケ） あなたが松戸市で生活する中で、次のことについてどの程度満足しているかについて、次のア～チの各項目に、あなたの考えに最も近い番号それぞれ1つに○をつけてください。

項目	十分満足している	まあまあ満足している	普通である	やや不満である	きわめて不満である	わからない
ケ 緑地・河川などの自然環境	1	2	3	4	5	6

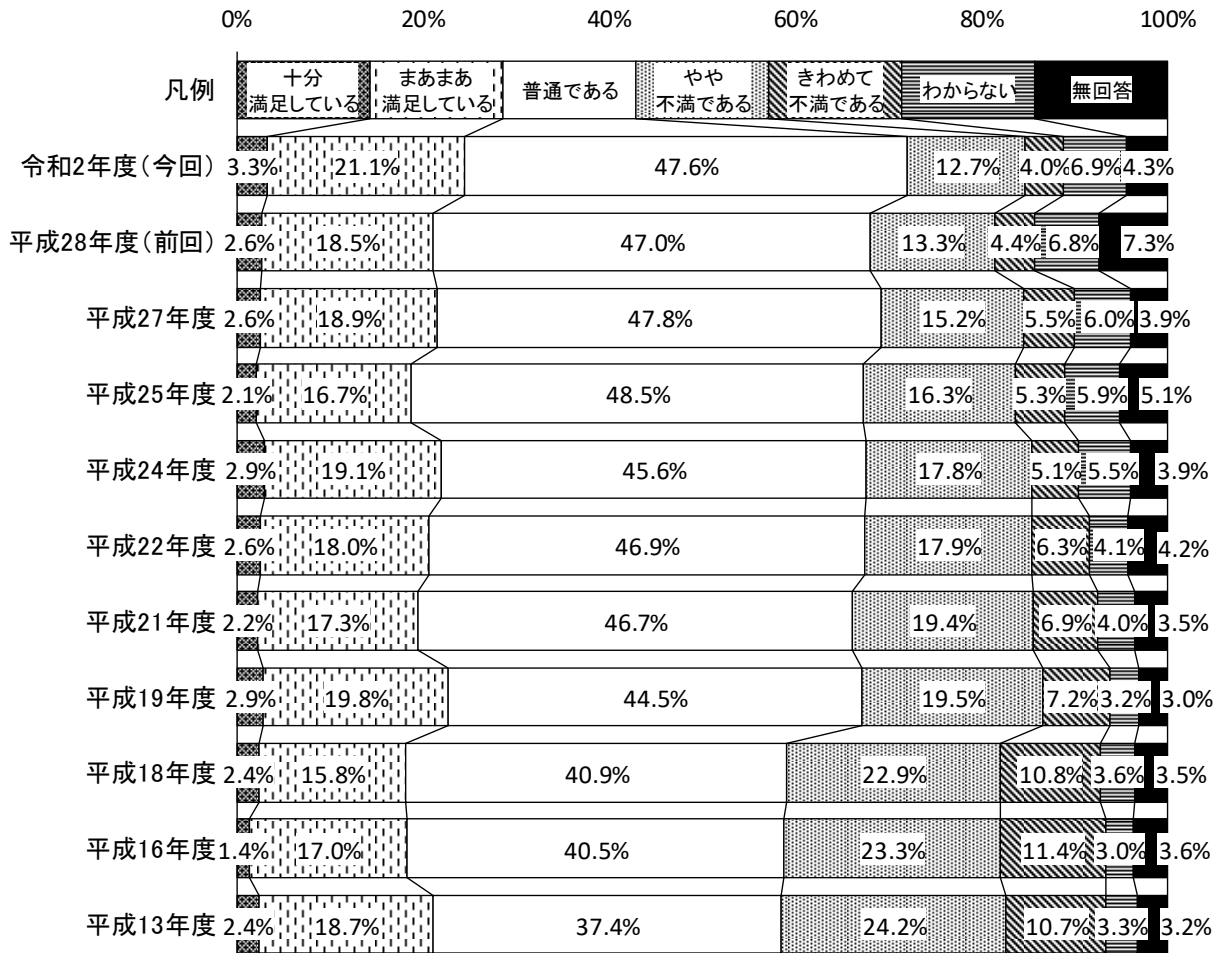
(3) 指標の現状

	平成13年度	平成16年度	平成18年度	平成19年度	平成21年度	平成22年度	平成24年度	平成25年度	平成27年度	平成28年度	令和2年度
十分満足している	2.4%	1.4%	2.4%	2.9%	2.2%	2.6%	2.9%	2.1%	2.6%	2.6%	3.3%
まあまあ満足している	18.7%	17.0%	15.8%	19.8%	17.3%	18.0%	19.1%	16.7%	18.9%	18.5%	21.1%
計	21.1%	18.4%	18.2%	22.7%	19.4%	20.6%	22.0%	18.8%	21.5%	21.1%	24.4%

(4) 指標の分析

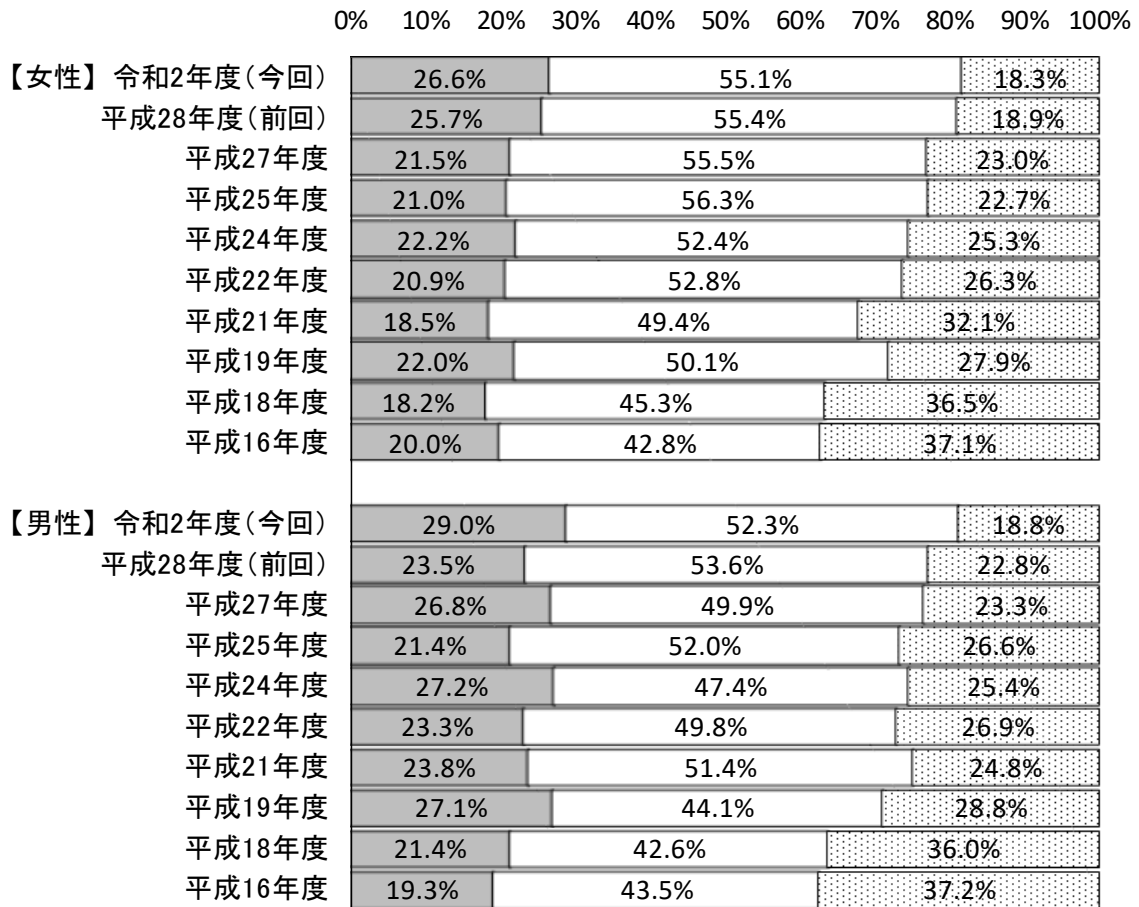
☆自然環境に満足している人は2割半ばとなっています

緑地・河川などの自然環境に、「十分満足している」、「まあまあ満足している」を合わせた『満足している』(24.4%)と答えた方は2割程度ですが、平成13年度調査以降最も高い割合となっています。



<自然環境×性別>

性別で見ると、『満足している』は“男性”（29.0%）が“女性”（26.6%）より高くなっており、平成28年度調査と比べて男性では5.5ポイント増加しています。

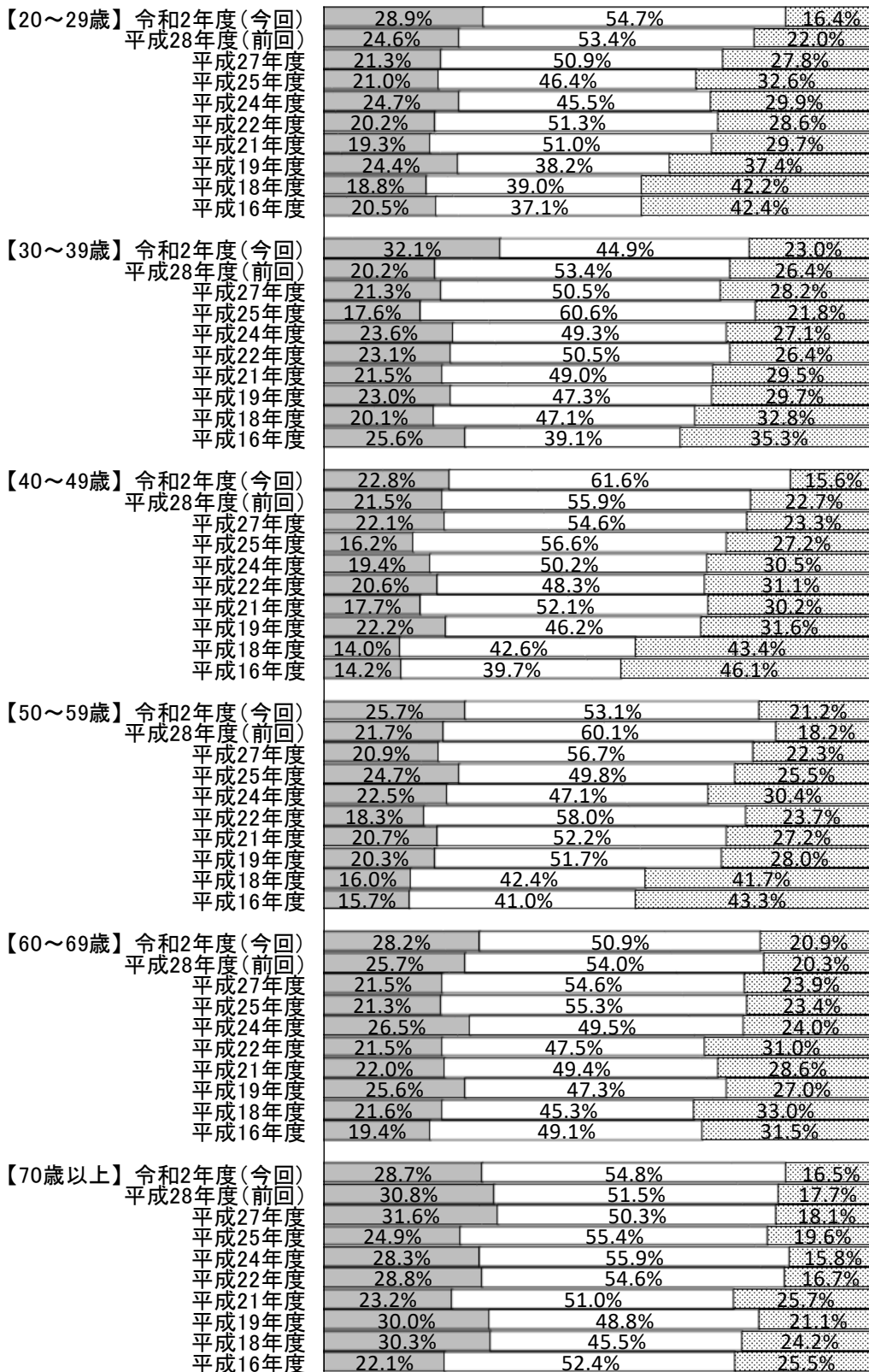


- 「十分満足している」と「まあまあ満足している」の合計比率
- 「普通である」の比率
- ▨「やや不満である」と「きわめて不満である」の合計比率

<自然環境×年齢別>

年齢別で見ると、『満足している』は“30～39歳”（32.1%）で最も高く、次いで“20～29歳”（28.9%）となっています。また、“70歳以上”を除く全ての年代で『満足している』は平成28年度調査と比べて増加しています。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



- 「十分満足している」と「まあまあ満足している」の合計比率
- 「普通である」の比率
- ▨「やや不満である」と「きわめて不満である」の合計比率